
2023年度 環境活動レポート

(対象期間: 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



大栄土木株式会社

作成日: 2024年7月25日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	11



環境経営方針



当社は、次世代に豊かで安全な環境を残すため、全社員でこころをひとつにして、会社の存続と発展のため日々努力します。また、常に自然及び生活環境の汚染予防に努め、豊かな社会の実現を目指し継続して行動します。



＜環境保全への行動指針＞

- 1) 環境関連法規制を遵守します。
- 2) 工事現場に伴う環境負荷（騒音・振動・悪臭も含む）の低減に努めます。
- 3) 建設廃棄物を低減するためのリサイクル活動を推進します。
- 4) 事業活動において、二酸化炭素排出・廃棄物排出量の低減を図ります。
- 5) リサイクルに取り組み、天然資源の有効活用及び、資源消費の削減を図ります。
- 6) 環境活動は社員教育や日々の事業活動を通じて全従業員に周知します。
- 7) 環境活動レポートを作成し、公表します。
- 8) 地域の環境保全に貢献します。

制定日：2009年7月21日

改定日：2019年6月1日

大栄土木株式会社
代表取締役社長 **志井 安男**

□認証・登録の対象組織・活動

(1) 名称及び代表者名

大栄土木株式会社
代表取締役 志井 安男

(2) 所在地

本 社 〒521-1331
滋賀県近江八幡市安土町石寺1297番地
電話 0748-46-4697 FAX 0748-46-4938
Eメール info@daieidoboku.co.jp

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	総務部	今宿 由香
担当者	総務部	今宿 由香

(4) 事業内容

特定建設業(一般・特定・第40911号)

・土木工事、とび・土工工事、鋼構造物工事、舗装工事、水道施設工事の施工

(5) 事業規模

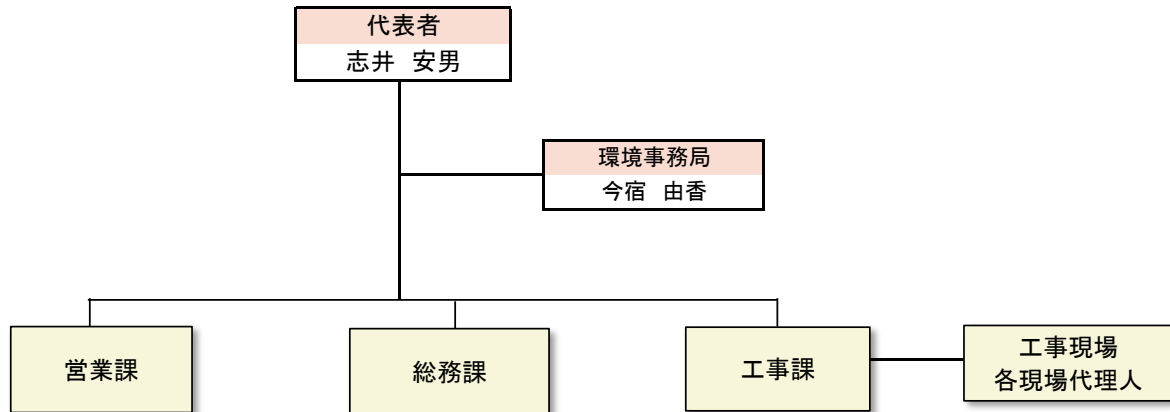
設 立	昭和52年4月
売上高	743百万円(2023年度)
資本金	2,000万円
社員数	8名

(6) 環境年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

(7) 事業年度 7 月 21 日 ~ 7 月 20 日

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年6月18日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
各課	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	46,146	56,194	85,473
廃棄物排出量				
産業廃棄物排出量	トン	290	1,442	1,286
水使用量	m ³	110	116	65

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh(関西電力2017年度調整後の排出係数)を使用している

※上記二酸化炭素排出量には少量のため目標に掲げていない、建設現場の電力使用量、灯油が含まれている。

□環境経営目標及びその実績

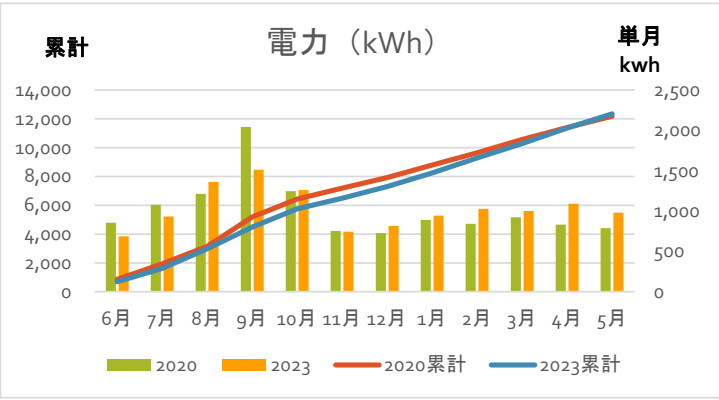
年 度 項 目		2020年	2023年		評 価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	12,181	11,937	12,348	×		
	kg-CO ₂	5,092	4,990	5,161	×	4,888	4,837
	基準年度比	100%	98%	101%	×	96%	95%
	kg-CO ₂ /百万円	24.8		7.0	○		
自動車燃料による二酸化炭素削減	ガソリン (L)	10,578	10,367	10,905	×	10,261	10,155
	軽油 (L)	8,522	8,351	4,253	○	8,266	8,181
	kg-CO ₂	46,528	45,597	36,274	○	45,132	44,667
	基準年度比	100%	98%	78%	○	97%	96%
	kg-CO ₂ /百万円	227.0		48.9	○		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	51,620	50,587	41,436	○	50,020	49,504
売上高	百万円	205	-	742	○	-	-
建設副産物の再資源化率の向上	%	98%	80%	99.6%	○	80%	80%
水道水の削減	m ³	73	72	65	○	71	70
	基準年度比	100%	98%	89%	○	97%	96%
環境に配慮した工事の推進	全工事で環境対策型建設機械を使用した。						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

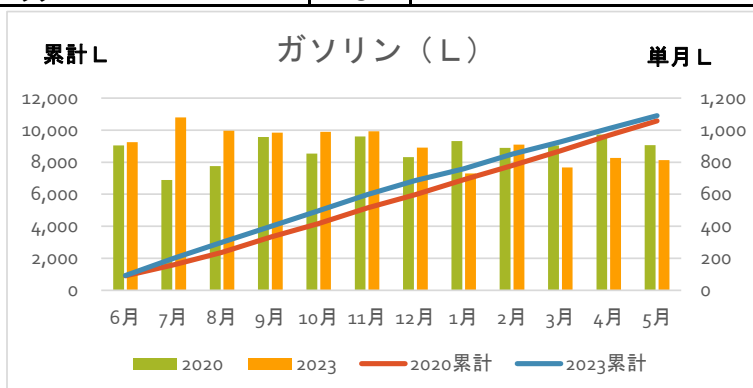
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	電気使用量については、基準年比101%となってしまったが、昨年度比では96%となった。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	

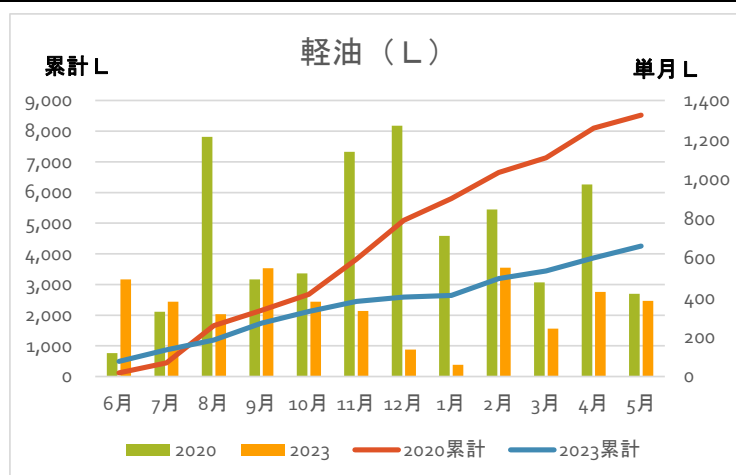


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	855	1,079	1,213	2,041	1,245	754	727	887	922	922	832	786
2023年	687	933	1,360	1,512	1,258	743	814	942	1,028	1,000	1,091	980

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	受注工事の種類により自社の重機を使用する機会が減り、結果的に軽油使用量が減った。 引き続き、アイドリングストップやエコドライブに努めたい。
・アイドリングストップ	○	
・急発進・急加速・急減速の禁止	○	
・不要な荷物は積まない	○	
・空気圧の適正チェック	○	



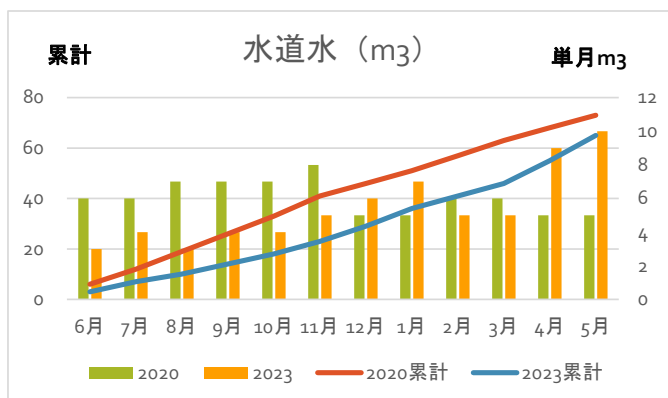
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	905	689	776	958	853	961	832	931	890	904	972	907
2023年	925	1,079	996	985	990	993	891	730	909	767	827	813



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	119	328	1,216	493	523	1,140	1,272	713	847	477	974	420
2023年	493	379	316	549	379	333	137	59	552	243	429	384

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	産業廃棄物の分別を徹底し再資源化率はほぼ100%。今後も3Rに努める。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年比89%とかなり削減できた。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・雨水利用による植木の水やり	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	6	6	7	7	7	8	5	5	6	6	5	5
2023年	3	4	3	4	4	5	6	7	5	5	9	10

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・低騒音建設機械の使用	○	濁水や騒音・振動など環境に配慮する工事は工事成績に大きく影響するので、今後も引き続き環境対策には留意していきたい。
・排出ガス適合建設機械の使用	○	
・濁水防止の監視	○	
・3Sの徹底	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物（コンクリートがら、アスコンがら、木くず等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁防止法	油類・有害物質の保管
大気汚染防止法	建築物解体時の特定粉じんの含有調査、報告
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、建設重機
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災・地震の発生、防災のために知っておきたいこと。	
■実施日： 2024/4/26 17:00～17:30	■実施場所： 事務所
■参加者： 志井安男、山梶利幸、佐藤勝也、西堀聡、神山健太郎、辻徳治、北川里佳子、安村勝人、今宿由香	■実施内容： 危険物の保管場所の新設、消火器の設置場所の確認
■評価： 文書のみで開催	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況 - BCPの再確認。 →設定してから時間がたっているため再考の必要がある。 - 危険物の保管場所、消火器の設置場所 →危険物の設置場所・保管方法、消火器の設置場所の確認 - 対応手順書の確認	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月28日

＜見直し項目＞		変更の必要性	＜指示事項等＞
1	環境方針	有 ☐ 無 ☒	なし
2	環境目標	有 ☐ 無 ☒	なし
3	環境活動計画	有 ☐ 無 ☒	なし
4	環境に関する組織	有 ☐ 無 ☒	なし
5	その他のシステム要素	有 ☐ 無 ☒	なし
6	その他(外部への対応)	有 ☐ 無 ☒	なし
○当社がエコアクションに取組みはじめて15年が経過し、社内はもちろん現場でも環境活動への理解は進んだように思う。日頃の周知と社員ひとりひとりが意識して行動した結果だと思われる。 ○景気動向、コロナ情勢、工事種類、工事場所など様々な外部要因がある中で、数値の増減に一喜一憂はできないが、自分の置かれた状況の中でどのような取り組みができたかが重要だと思う。 ○今後、物価上昇の影響がどのような形で表面(数字)に表れるか先が見えない部分はあるが、今後も引き続き環境活動に取り組んでいきたい。			

□これまでの環境活動の紹介

○淡海エコフオスター活動（毎月実施）



○令和5年度 県下一斉清掃・彦根



○令和5年度 県下一斉清掃・東近江

